

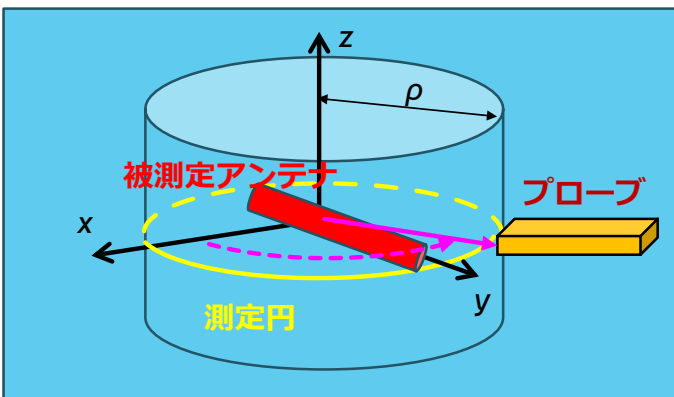
# アンテナ近傍界計測ソフトウェア ～シングルカット/マルチカット法～

## ■概要

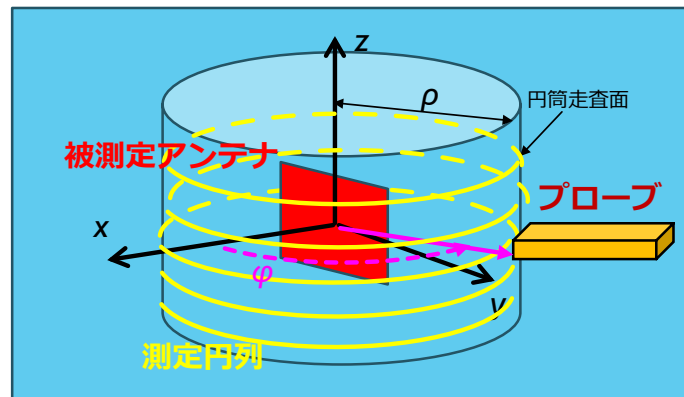
従来の標準的なアンテナ近傍界測定を独自近似法で高精度・高速測定を実現しました。マルチカット法では、通常の間筒走査法よりも高さ方向のサンプリング間隔が広く、測定点数を1/4以下にでき、測定時間の短縮が可能です。被測定アンテナによりシングルカット、マルチカット法を選択頂くことで、測定の効率化を実現できます。

## ■特徴

- ◆様々なアンテナに適用可能
- ◆高速測定(測定時間：マルチカット法は従来法の1/4以下)
- ◆プローブ補正により絶対利得アンテナパターン測定可能



シングルカット法



マルチカット法

## システム構成例

		シングルカット法	マルチカット法
被測定アンテナ		y軸方向に長いアンテナ (例えばマリーンレーダアンテナ、基地局アンテナ)	制限なし ※測定環境の制限
サンプリング間隔	$\Delta\phi$	$\rho_A \Delta\phi^{(1)} < \lambda/2$	$\rho_A \Delta\phi^{(1)} < \lambda/2$
	$\Delta z$	— (アンテナ高H: $2H^2/\lambda < \rho$ )	$\lambda \rho / H^{(2)}$
被測定アンテナ- プローブ距離		円筒半径はアンテナの 長軸長さ以上	円筒半径はアンテナの 横幅以上
走査範囲		一断面	アンテナ高さの1.5倍程度

(1)  $\rho_A$ はアンテナ幅を含む円筒の半径 (2)  $\rho$ は測定円の半径、Hはアンテナ高さ